

## 2 健康づくりについて

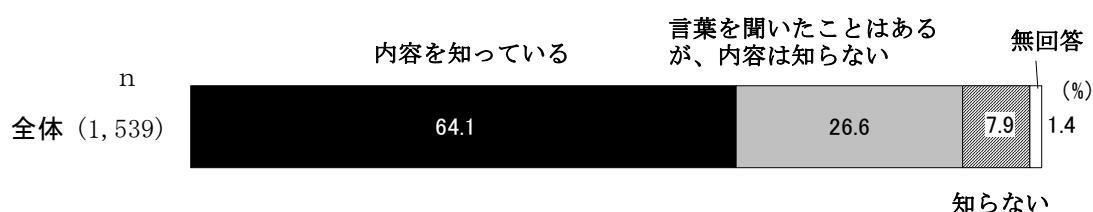
### (1) 内臓脂肪症候群（メタボリックシンドローム）の認知度

◇「内容を知っている」が6割台半ばで最も多い

問9 県では、健康ちば21（健康増進計画）を策定し、疾病予防を中心とする県民健康づくり運動を総合的に推進しています。

生活習慣と深い関わりのある内臓脂肪症候群（メタボリックシンドローム）とは、「内臓脂肪が蓄積することによって、心筋梗塞や脳卒中などが起こりやすくなる状態」のことです。あなたは、この内容を知っていますか。（○は1つ）

<図表2-1>内臓脂肪症候群（メタボリックシンドローム）の認知度



内臓脂肪症候群（メタボリックシンドローム）の認知度を聞いたところ、「内容を知っている」（64.1%）が6割台半ばで最も多くなっている。次いで、「言葉を聞いたことはあるが、内容は知らない」（26.6%）が2割台半ばである。（図表2-1）

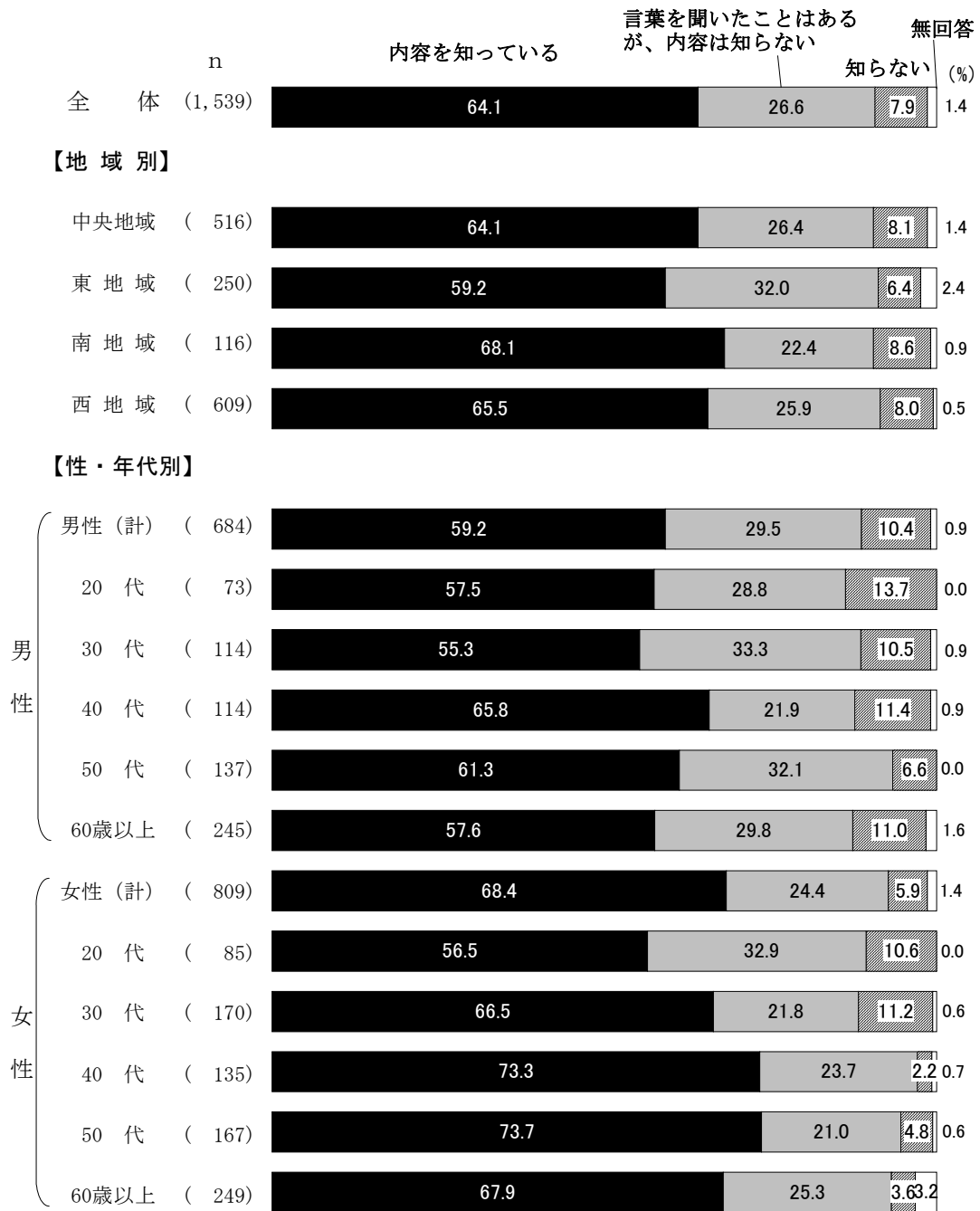
#### 【地域別】

地域別でみると、「内容を知っている」は、いずれの地域でも多くなっているが、“南地域”（68.1%）で約7割と最も高く、“東地域”（59.2%）で約6割と低い。（図表2-2）

#### 【性・年代別】

性・年代別でみると、性別（計）では、「内容を知っている」は、男性（59.2%）よりも女性（68.4%）の方が高く約9ポイント差となっている。男性では、「内容を知っている」は40代（65.8%）で6割台半ばと最も高い。一方、女性では、「内容を知っている」は、40代（73.3%）と50代（73.7%）で7割台半ばとなっている。（図表2-2）

<図表 2-2> 内臓脂肪症候群（メタボリックシンドローム）の認知度／地域別、性・年代別

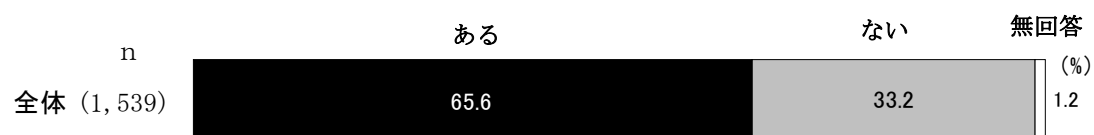


## (2) 過去1年間の健診や人間ドッグ受診の有無

◇「ある」が6割台半ば

問10 あなたは過去1年間に、健診（健康診断や健康診査）や人間ドッグを受けたことがありますか。（○は1つ）

<図表2-3>過去1年間の健診や人間ドッグ受診の有無



過去1年間の健診や人間ドッグ受診の有無を聞いたところ、「ある」（65.6％）が6割台半ばとなっており、「ない」（33.2％）よりも多くなっている。（図表2-3）

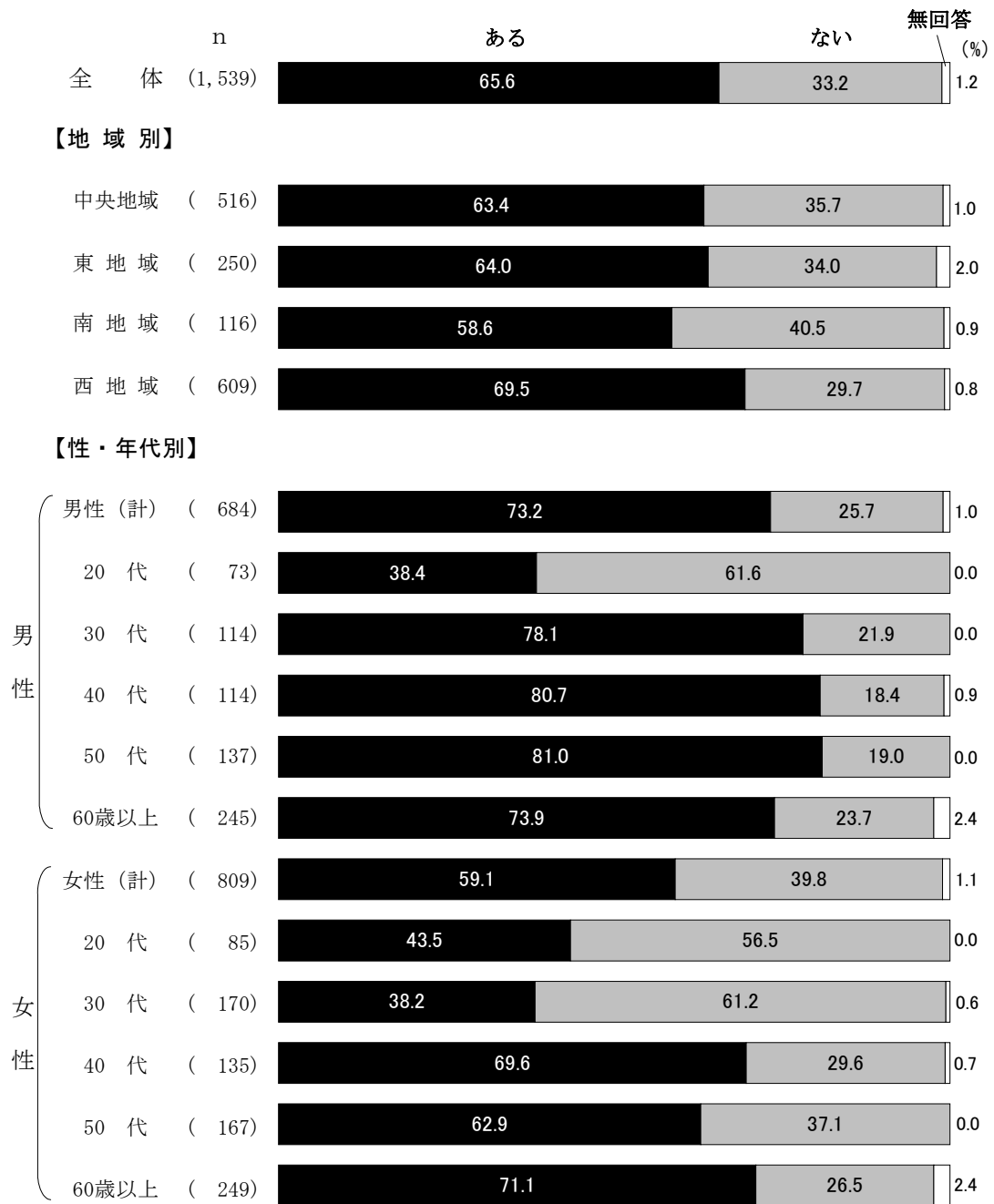
### 【地域別】

地域別でみると、「ある」は、「西地域」（69.5％）で約7割と最も高くなっている。「ない」は、「南地域」（40.5％）が4割で最も高い。（図表2-4）

### 【性・年代別】

性・年代別でみると、性別（計）では、「ある」は男性（73.2％）の方が女性（59.1％）よりも約14ポイント高くなっている。年代では、男性は30歳以上、女性は40歳以上で「ある」が高くなっており、特に、男性の40代（80.7％）と50代（81.0％）は8割以上と高くなっている。（図表2-4）

<図表2-4> 過去1年間の健診や人間ドッグ受診の有無／地域別、性・年代別



### (3) 肥満、高血圧症、糖尿病、血中脂質異常に関する指摘

◇肥満、高血圧症、糖尿病、血中脂質異常に関する指摘を受けたことのある人が5割を超える

(問10で、「1 ある」とお答えの方に)

問10-1 健診の結果、肥満、高血圧症(血圧が高い)、糖尿病(血糖が高い)、血中の脂質異常(総コレステロール、LDL(悪玉コレステロール)や中性脂肪(トリグリセライド)が高い、または、HDL(善玉コレステロール)が低い)に関する指摘を受けましたか。(〇は1つ)

<図表2-5>肥満、高血圧症、糖尿病、血中脂質異常に関する指摘



問10で健診や人間ドッグを受診したことが「ある」と回答した1,010人を対象に、肥満、高血圧症、糖尿病、血中脂質異常に関する指摘を受けたか聞いたところ、「はい」(52.8%)が5割を超える。(図表2-5)

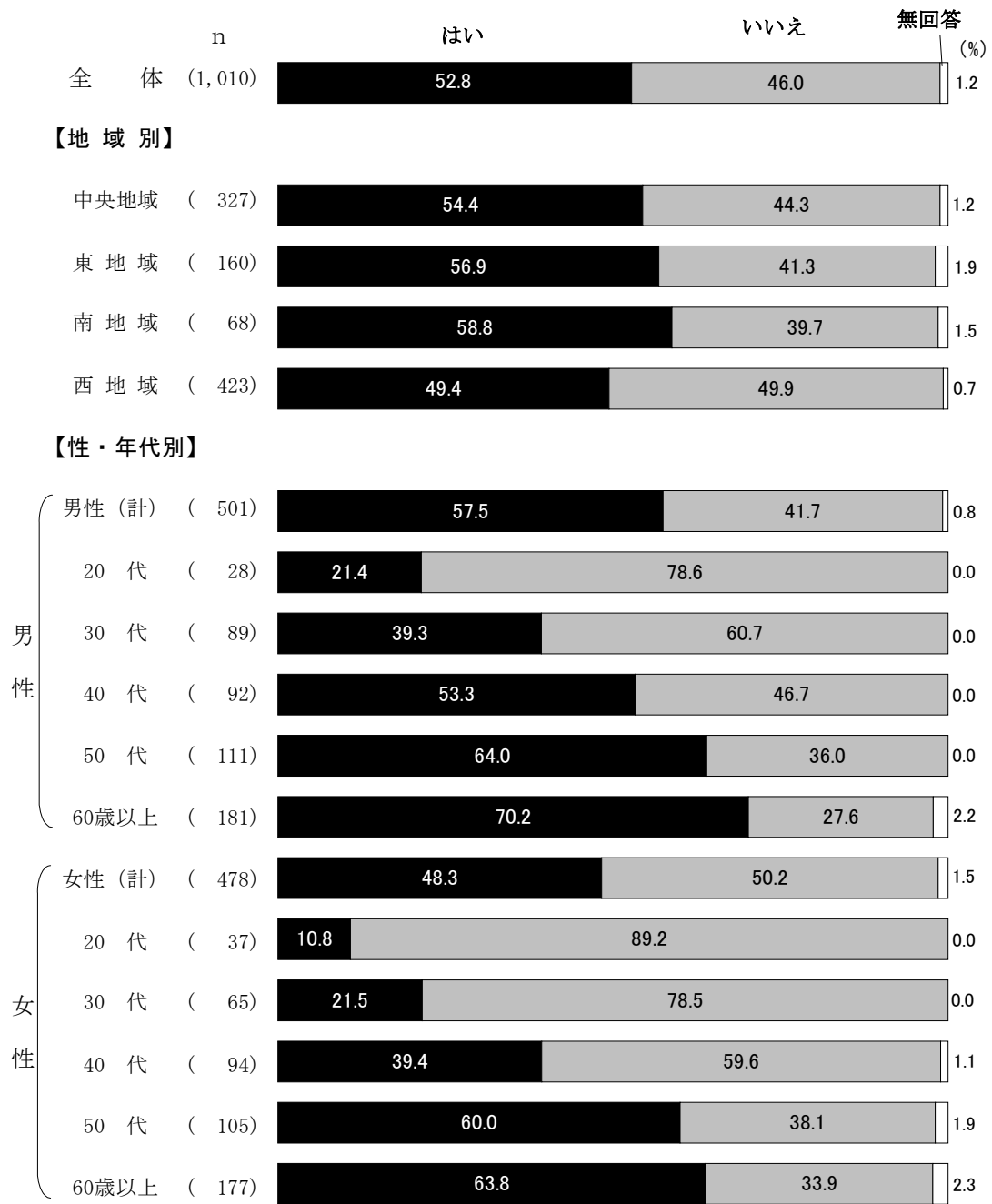
#### 【地域別】

地域別では、「はい」が“西地域”(49.4%)で約5割と最も低くなっている。(図表2-6)

#### 【性・年代別】

性・年代別でみると、性別(計)では、「はい」は男性(57.5%)の方が女性(48.3%)よりも約9ポイント高くなっている。年代では、男女ともに年代が上がるほど増加しており、特に、男性の60歳以上(70.2%)は7割と高い。(図表2-6)

<図表2-6>肥満、高血圧症、糖尿病、血中脂質異常に関する指摘／地域別、性・年代別



## (4) 指摘を受けた内容

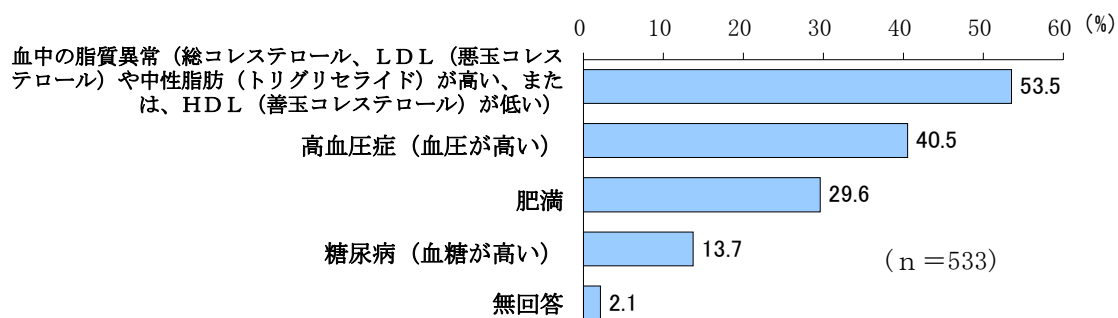
◇「血中の脂質異常が高い、または、HDLが低い」が5割台半ばで最も高い

(問10-1で、「1 はい」とお答えの方に)

問10-1-1 次のどのようなことについて、指摘を受けましたか。

(該当するものすべてに○)

<図表2-7>指摘を受けた内容(複数回答)



問10-1で肥満、高血圧症、糖尿病、血中脂質異常に関する指摘を受けたことがあると回答した533人を対象に、指摘を受けた内容を聞いたところ、「血中の脂質異常(総コレステロール、LDL(悪玉コレステロール)や中性脂肪(トリグリセライド)が高い、または、HDL(善玉コレステロール)が低い)」(53.5%)が5割台半ばで最も高くなっている。次いで、「高血圧症(血圧が高い)」(40.5%)が4割、「肥満」(29.6%)が約3割となっている。(図表2-7)

### 【地域別】

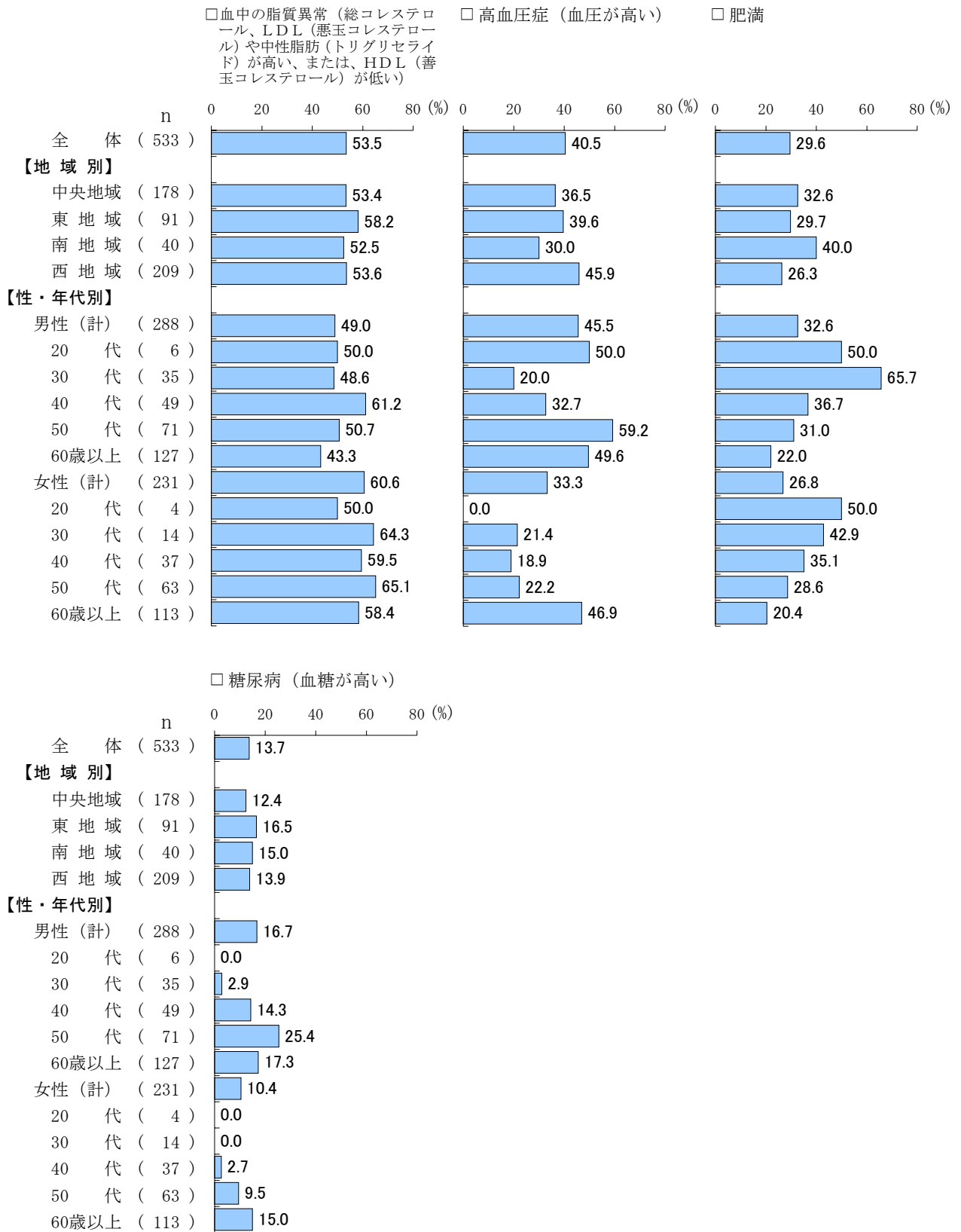
地域別でみると、「血中の脂質異常(総コレステロール、LDL(悪玉コレステロール)や中性脂肪(トリグリセライド)が高い、または、HDL(善玉コレステロール)が低い)」は、「東地域」(58.2%)で約6割と最も高い。「高血圧症(血圧が高い)」は「西地域」(45.9%)で4割台半ば、「肥満」は「南地域」(40.0%)で4割と、それぞれ他の地域に比べて高くなっている。(図表2-8)

### 【性・年代別】

性・年代別でみると、性別(計)では、「血中の脂質異常(総コレステロール、LDL(悪玉コレステロール)や中性脂肪(トリグリセライド)が高い、または、HDL(善玉コレステロール)が低い)」は、女性(60.6%)の方が男性(49.0%)よりも約12ポイント高くなっている。逆に、それ以外は男性の方が女性よりも高く、「高血圧症(血圧が高い)」で約12ポイント、「肥満」と「糖尿病(血糖が高い)」で約6ポイント高くなっている。

年代では、「血中の脂質異常(総コレステロール、LDL(悪玉コレステロール)や中性脂肪(トリグリセライド)が高い、または、HDL(善玉コレステロール)が低い)」が、女性の50代(65.1%)で6割台半ばと高くなっており、男性では、唯一40代(61.2%)が6割を超える。また、「高血圧症(血圧が高い)」は、男性は50代(59.2%)で約6割、女性は60歳以上(46.9%)で4割台半ばとそれぞれ高くなっている。「肥満」は男性の30代(65.7%)で6割台半ばを超え最も高く、女性では年代が上がるほど減少している。「糖尿病(血糖が高い)」は、男性の50代(25.4%)が2割台半ばで最も高くなっている。(図表2-8)

<図表2-8> 指摘を受けた内容／地域別、性・年代別



※男性の20代、女性の20～30代のようにnの値が少ないものについては、参考までに図示するとどめ、文中では触れていない。



## (5) 指導を受けたことについての保健指導の有無

◇保健指導を受けた人が6割台半ば

(問10-1で、「1 はい」とお答えの方に)

問10-1-2 指摘を受けたことについて、保健指導(食事や生活習慣の改善の指導)を受けましたか。(○は1つ)

<図表2-9> 指導を受けたことについての保健指導の有無



問10-1で肥満、高血圧症、糖尿病、血中脂質異常に関する指摘を受けたことがあると回答した533人を対象に、保健指導を受けたか聞いたところ、「はい」(66.4%)が6割台半ばと多くなっている。(図表2-9)

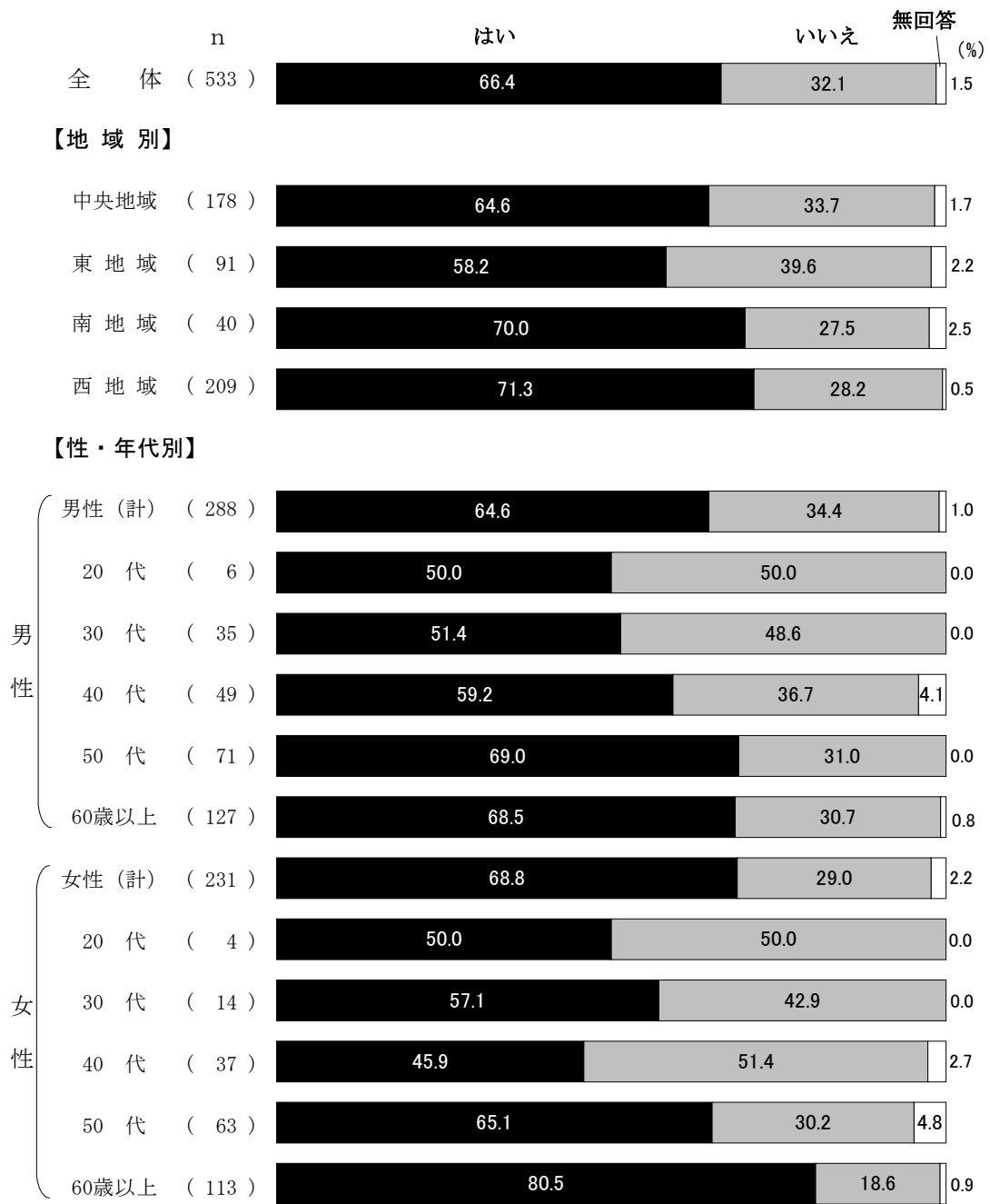
### 【地域別】

地域別でみると、「はい」は、「西地域」(71.3%)と「南地域」(70.0%)で7割以上と高くなっている。一方で、「いいえ」は、「東地域」(39.6%)で約4割と高くなっている。(図表2-10)

### 【性・年代別】

性・年代別でみると、男性では、「はい」がおおむね年代が上がるほど増加する傾向がみられ、50代(69.0%)と60歳以上(68.5%)で約7割となる。一方、女性では、「はい」が60歳以上(80.5%)で8割と突出している。(図表2-10)

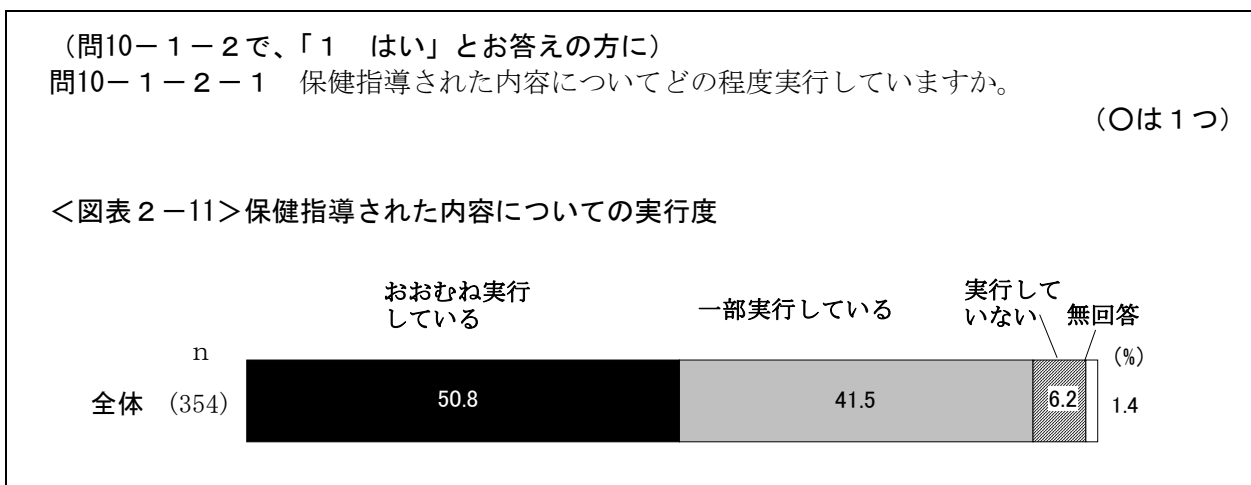
<図表2-10> 指導を受けたことについての保健指導の有無／地域別、性・年代別



※男性の20代、女性の20～30代のようにnの値が少ないものについては、参考までに図示するとどめ、文中では触れていない。

## (6) 保健指導された内容についての実行度

◇『実行している』は9割を超える



問10-1-2で保健指導を受けたことがあると回答した354人を対象に、保健指導された内容についての実行度を聞いたところ、「おおむね実行している」(50.8%)が5割と最も多く、「一部実行している」(41.5%)が4割を超える。これらを合わせると、『実行している』(92.3%)は9割を超える。(図表2-11)

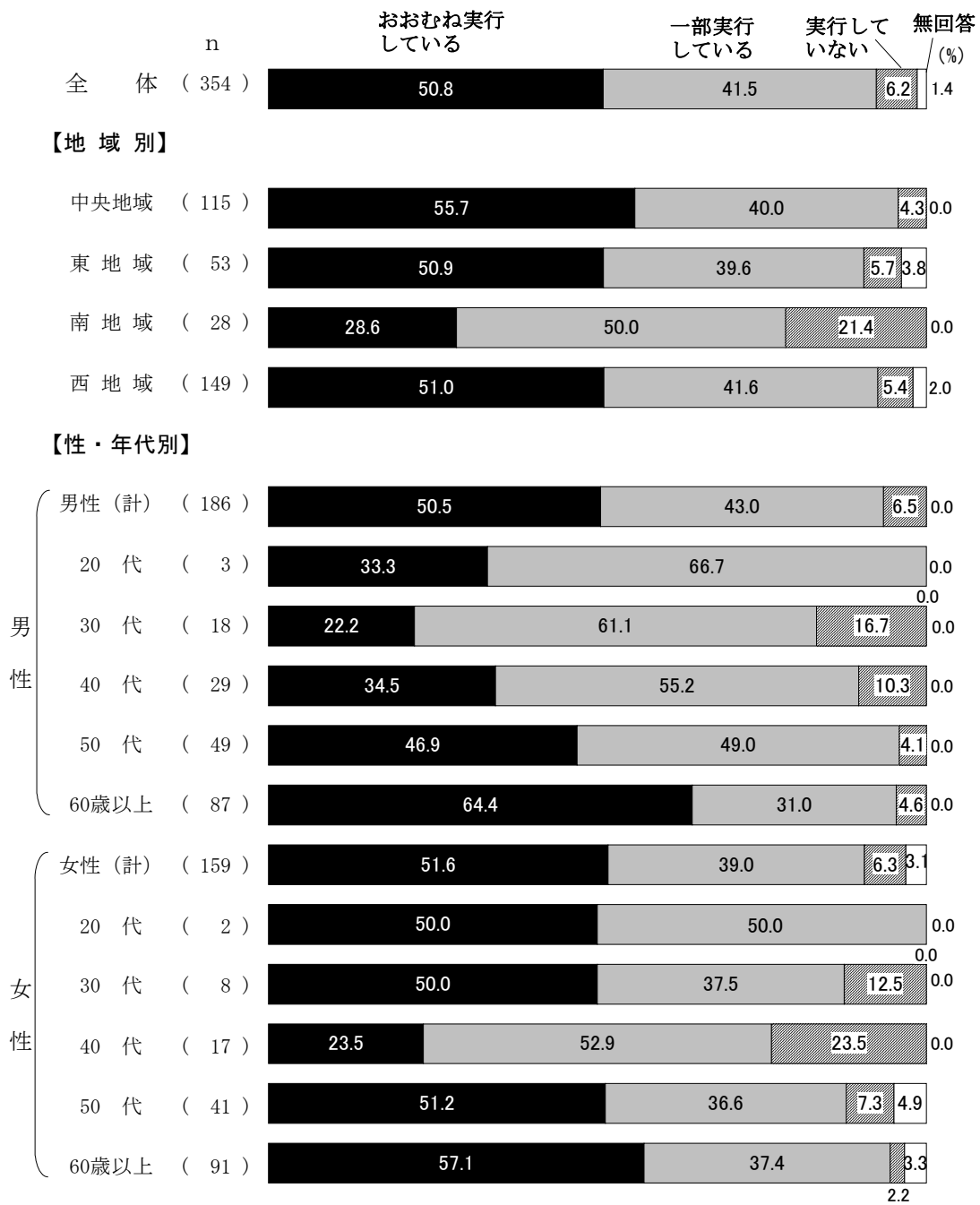
### 【地域別】

地域別でみると、「おおむね実行している」が、「南地域」(28.6%)で約3割と低く、唯一半数を下回る。そのため、『実行している』としても、「南地域」(78.6%)は約8割にとどまり、他の地域に比べて低く、「実行していない」(21.4%)が2割を超える。(図表2-12)

### 【性・年代別】

性・年代別でみると、男性では、『実行している』が40歳以上で年代が上がるほど増加し、60歳以上(64.4%)で6割台半ばとなっている。(図表2-12)

<図表 2-12> 保健指導された内容についての実行度／地域別、性・年代別



※男性の20～30代、女性の20～40代のようにnの値が少ないものについては、参考までに図示するにとどめ、文中では触れていない。

## (7) 医療機関の受診を勧められた経験の有無

◇医療機関の受診を勧められた経験がある人は5割を超える

(問10-1で、「1 はい」とお答えの方に)

問10-1-3 最終的に、医療機関を受診するように勧められましたか。(○は1つ)

<図表2-13> 医療機関の受診を勧められた経験の有無

n	はい	いいえ	無回答	(%)
全体 (533)	52.5	36.6	10.9	

問10-1で肥満、高血圧症、糖尿病、血中脂質異常に関する指摘を受けたことがあると回答した533人を対象に、医療機関の受診を勧められた経験の有無を聞いたところ、「はい」(52.5%)が5割を超える。一方で、「いいえ」(36.6%)は3割台半ばである。(図表2-13)

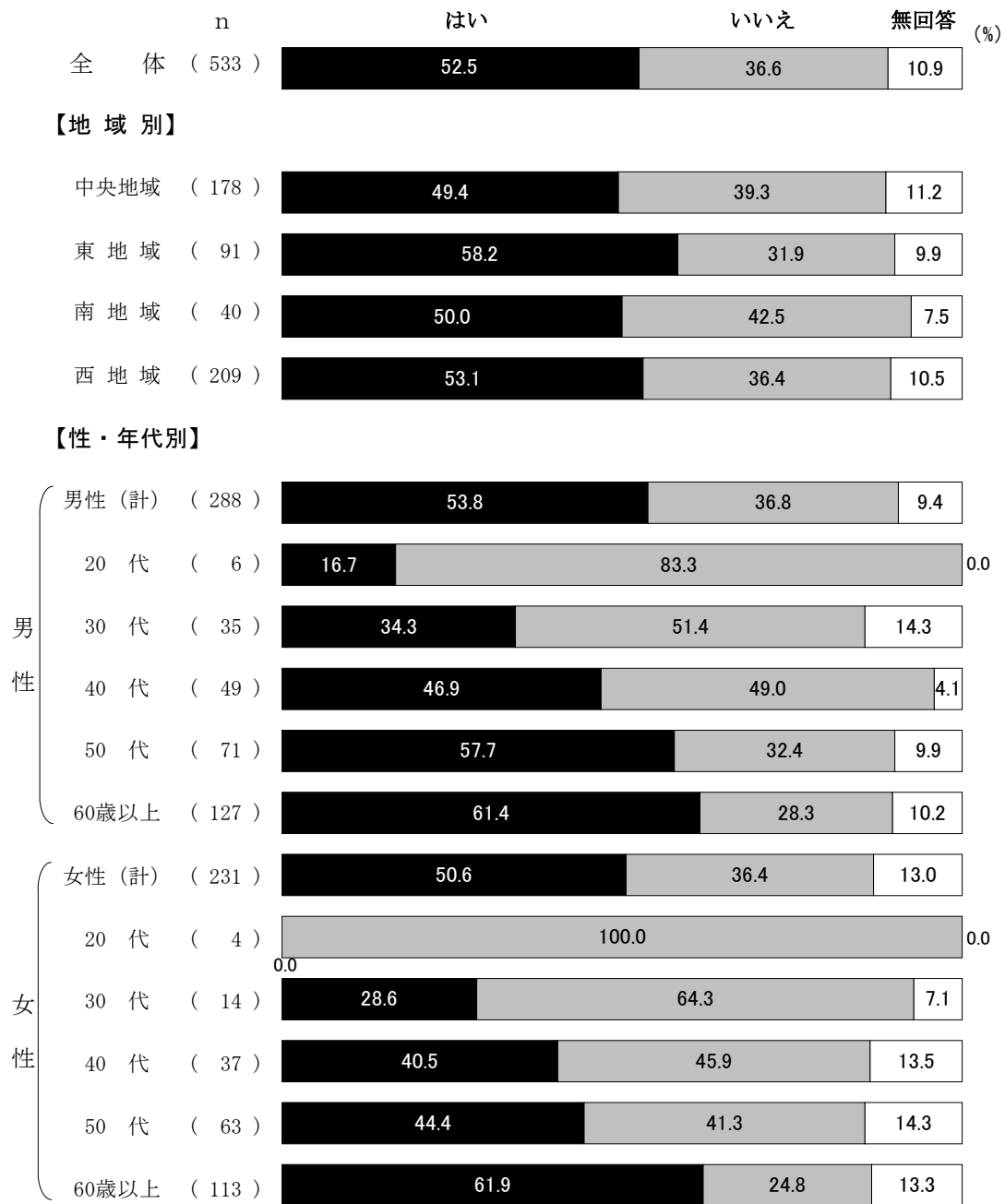
### 【地域別】

地域別でみると、「はい」は、“東地域”(58.2%)で約6割と高くなっている。(図表2-14)

### 【性・年代別】

性・年代別でみると、「はい」は、男女ともに年代が上がるほど増加しており、男性の60歳以上(61.4%)と女性の60歳以上(61.9%)で、ともに6割を超える。(図表2-14)

<図表2-14> 医療機関の受診を勧められた経験の有無／地域別、性・年代別



※男性の20代、女性の20～30代のようにnの値が少ないものについては、参考までに図示するとどめ、文中では触れていない。

## (8) 医療機関の受診

◇医療機関の受診をした人は約9割

(問10-1-3で、「1 はい」とお答えの方に)  
問10-1-3-1 その後、医療機関に行きましたか。(○は1つ)

<図表2-15>医療機関の受診



問10-1-3で医療機関の受診を勧められたことがあると回答した280人を対象に、医療機関の受診を聞いたところ、「はい」(87.9%)は約9割となっている。(図表2-15)

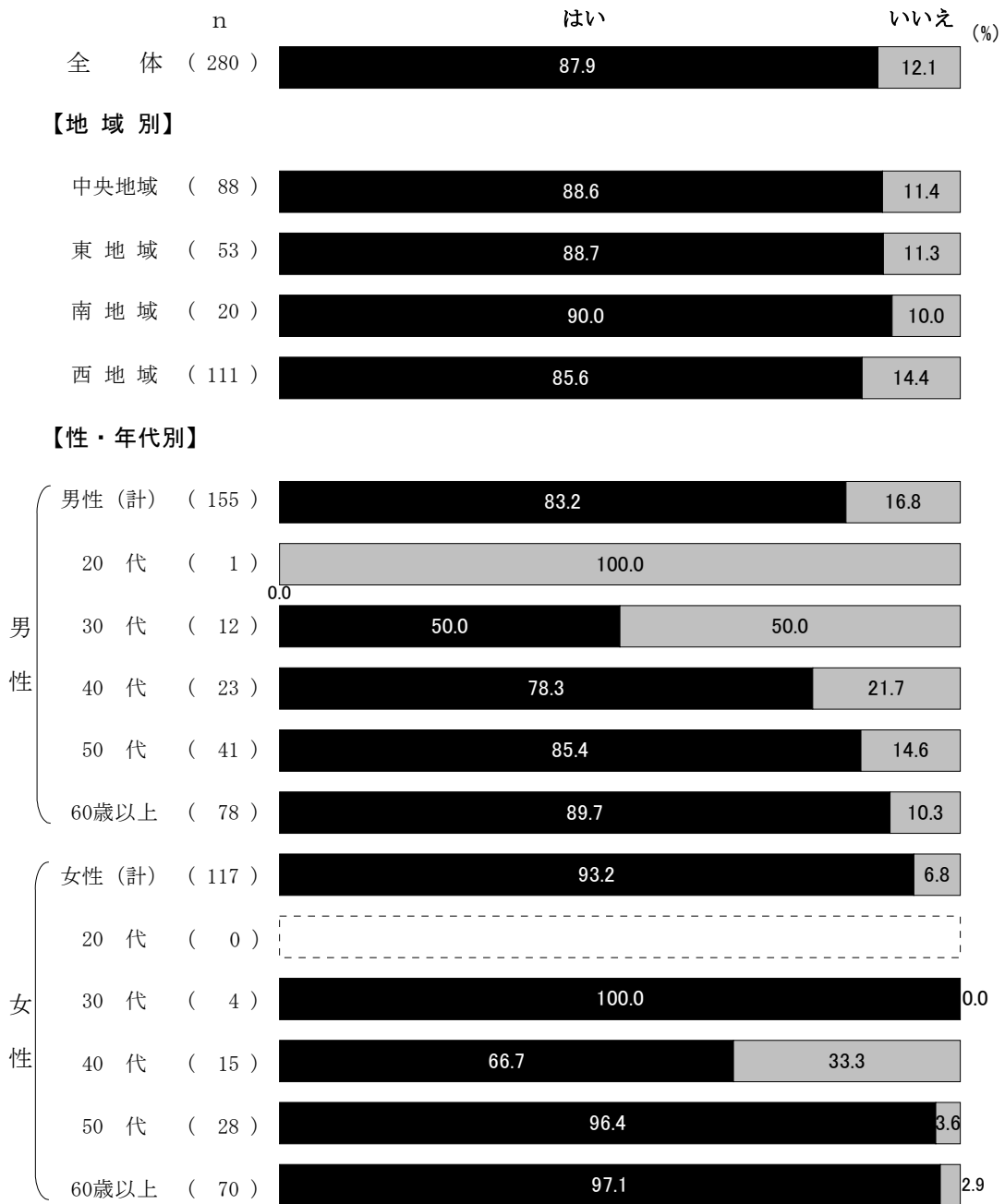
### 【地域別】

地域別でみると、いずれの地域でも「はい」が多いが、“西地域”(85.6%)は8割台半ばとやや低い。(図表2-16)

### 【性・年代別】

性・年代別でみると、「はい」は、男性で年代が上がるほど増加している。(図表2-16)

<図表 2-16> 医療機関の受診／地域別、性・年代別



※男性の20~40代、女性の20~40代のようにnの値が少ないものについては、参考までに図示するにとどめ、文中では触れていない。